

# そのAIは、 世界を 動かせるか。

受講生  
募集

## 未来を動かす人材を募集

#AI・ロボティクス

#システム開発

#社会実装

#センシング・制御

#シミュレーション

#現場課題分析

アイデアを、現場で活きる技術へ。

### 学ぶ

AI・ロボティクス・シミュレーションの基盤技術を体系的に学ぶ。

### 解決する

プロトタイプを開発し、課題解決への道筋を考える。

### つくる

現場課題をテーマにチームでフィジカルAIを形にする。

### 社会へ

社会実装を見据え、現場で活躍できる実践力を身につける。

参加申し込みはこちら ▶



## プログラムの目的

生成AIの発展により、AIは「考える」だけでなく、ロボットやモビリティなど現実世界で行動するフィジカルAIへと進化しています。

本プログラムでは、

大学の先端研究 × 企業が持つ実践技術 × 現場ニーズ

を融合し、フィジカルAIを社会実装できる人材の育成を目指します。

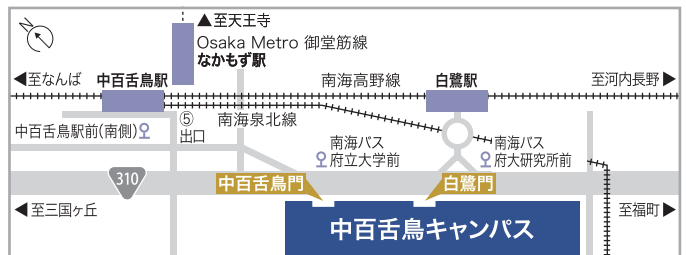
## プログラム詳細

実施時期：2026年10月～12月 毎週水曜日 13:15～16:30

※不定期に10:45～12:15の実施や企業によるセミナーあり ※全日程への参加を推奨しています

| 開催日時  | 課程・プログラム              | 内容        | 到達目標                                     |
|-------|-----------------------|-----------|------------------------------------------|
| 10/7  | 第1課程：AIに関する技術の教育      | ①生成AI・LLM | クラウド/ローカルAIを活用し、AIを用いた問題解決やプラン設計ができる。    |
|       |                       | ②AIエージェント |                                          |
| 10/14 |                       | ③プランニング   |                                          |
| 10/21 | 第2課程：ロボティクスに関する技術の教育  | ①実機制御     | ロボットの構成を理解し、実機の制御・シミュレーションや環境のセンシングができる。 |
|       |                       | ②シミュレーション |                                          |
| 10/28 |                       | ③センシング    |                                          |
| 11/4  | 第3課程：フィジカルAIに関する技術の教育 | ①システム統合   | AIとロボットを統合し、フィジカルAIシステムの基本構成を実装できる。      |
| 11/11 |                       | ②デモ開発     |                                          |
| 11/18 |                       |           |                                          |
| 11/25 | 第4課程：フィジカルAIに関するハッカソン | ①②アイデア出し  | 社会課題に対して、フィジカルAIを用いたプロトタイプを企画・開発・検証できる。  |
| 12/2  |                       | ③-⑥開発     |                                          |
| 12/9  |                       | ⑦⑧フィードバック |                                          |
| 12/16 |                       | ⑨-⑭開発     |                                          |
| 12/23 | 第5課程：成果発表             | ①成果発表     | 開発成果を論理的に説明できる。                          |
| 随時    | 企業によるセミナー(複数回)        | 講演会／見学会   | 企業の技術動向・実課題を理解し、社会実装を意識した課題を設定できる。       |

|       |                                                 |
|-------|-------------------------------------------------|
| 実施会場  | 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス                                |
| 参加費   | 負担なし(中百舌鳥Cへの交通費は自費)                             |
| 募集人数  | 10名程度                                           |
| 対象者   | 大学生、大学院生、社会人                                    |
| 推奨スキル | ・Pythonによる基本的なプログラミング経験<br>・Linux(Ubuntu等)の基本操作 |



### こんな人におすすめです

- ✓ AIを実社会で活かしたい
- ✓ ロボットに興味がある
- ✓ 企業の最前線を知りたい
- ✓ 社会課題を解決したい
- ✓ 新しい技術を学びたい

### 参加申込はこちらから

申し込み期間 ※定員になり次第締切

9.14 8:00~  
MON



お問い合わせ先

大阪公立大学 藤永 拓矢、蔡 凱 ▶ tfujinaga@omu.ac.jp cai@omu.ac.jp